

県コンクリート  
診断士会(会  
長:地濃茂雄新  
潟工科大学名

誉教授)はこのほど、29年度の通常総  
会を新潟市内で開催=写真。29年度の  
事業計画を含む3議案について審議  
し、すべて承認した。

29年度事業計画では、コンクリート診  
断士の社会的地位の向上およびコン  
クリート診断士によるコンクリート診断  
技術の普及と向上に努めることにより、  
社会全体の健全な発展に大きく寄与  
することを目的として、技術部会・広報  
部会においてそれぞれの役割分担に  
応じた活動を積極的に展開する。その

## 社会全体の健全な発展に寄与する活動展開

### 29年度事業計画など3議案を承認

県コンクリート診断士会が通常総会

上で、今年  
度は前年  
度に引き続  
き県建設  
技術セン



ターの研究事業助成金の活用による  
事業をさらに拡大・充実させる。また、3  
0年に開催予定の設立10周年記念事  
業の計画と準備を進めることとしてい  
る。

主な事業をみると、コンクリート診断に  
関わる知識、技術、文化の向上に資す  
るための事業として技術セミナー(29  
年12月頃)や、現場研修会(同8月・11  
月頃の2回)を実施する。また、診断士  
の社会的地位の向上および地域社会  
の健全な発展に寄与するための事業と  
して、関係自治体への研修会講師派  
遣や発注機関に向けた診断士制度活  
用のためのPR強化を図ることとしてい  
る。

冒頭あいさつした地濃会長は、先ごろ  
九州地方で発生した豪雨災害につい  
て触れ、「自然現象は時に自然災害と  
なり、社会持続可能性の崩壊や経済  
的・社会的発展の混乱を招く」と指摘。  
その上で、「自然災害を正しく恐れるこ  
とが重要」との考えを明らかにし、「認識  
を新たに県民の生命と財産、暮らしの  
場を守ることが当会の使命だ」と力を  
込め、会員のさらなる飛躍を求めた。